

「誰が、なぜ、なんのために?! タケハヤの地上絵」A表現 (1)

授業者 東京造形大学 石賀 直之

1. 題材について

新学習指導要領における高学年の造形遊びの解説では、材料や場所、空間などの特徴を十分に関連させながら、造形的な活動を思い付くようにする必要があることが述べられている。さらに、高学年の発達に応じて発想の手立てを工夫することの重要性が示されている。しかしながら、現実的には高学年の子どもたちが材料や場所の様子からなにかを生み出す造形的なモチベーションが発揮され難い現実がある。この問題に大切だと謳われているにも関わらず高学年の造形遊びの実施率が驚くほど低い理由があるのではないかと考える。その理由として、人間の所作全般に関わることであるが、高学年の造形遊びにおいて「なにを、なんのために」という動機が子ども達にとって腑に落ちていないからであろうと考える。この場合の動機とは意味のある行為に限定されるのではなく、ユーモアや楽しさ、といったわくわくするような気持ちによって駆動していくことも多くあると捉えることが高学年の子ども達の真性に迫ることができるポイントだと考える。

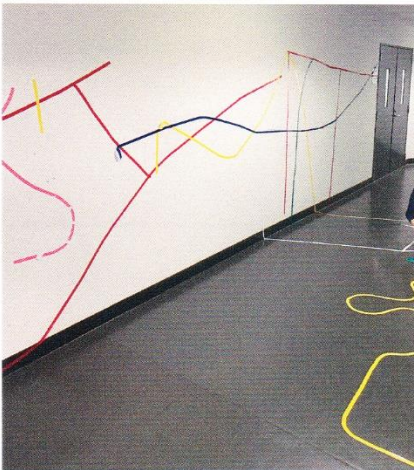
今回の造形遊びではナスカの地上絵をモチーフに活動を展開する計画を立案した。ナスカの地上絵はその制作方法から目的まで諸説あり、中には宇宙人説や未来人説といったロマンのあるものまで存在している。諸説あるその理由として地上絵そのものが何の意味があるのか、なんのねらいでつくられたのか謎であることが挙げられる。このような「わかるようでわからない謎」は子ども達の知的な好奇心を満たすのに十分な魅力を備えている。

そこで、今回ナスカの地上絵のように場所に対して自分たちが造形的に手掛けることで、見慣れた場所や空間を新しい意味のある場所や空間に変えることを子どもたちに提案したい。子ども達は「目的がはっきりしない謎の地上絵」という不思議なテーマ設定に面白さを感じるであろうと期待する。謎、というキーワードを基にビニールテープで表す活動を通して、ただ自由に貼って楽しむだけではなく慣れ親しんだ空間や場所にどのような意味や価値が作りだされたのかを感じることを期待する。

2. 本題材のねらい

- ビニールテープの色や線の組み合わせで場所の様子が変わること気づき、そのよさや特徴を表現に生かそうとする。(知識・技能)
- 場所と関わったビニールテープによる巨大な線表現による効果や気づいたことをもとに、それを活用して自分が表したい表現をめざそうとする。(思考力・判断力・表現力)
- 場所と関わるビニールテープによる線表現に関心を持ち表そうとする。(学びに向かう力・人間性等)

3. 準備 画像投影用TV、ビニールテープ各色、はさみ



活動のイメージ写真

4. 本題材の流れ（1時間扱）

学習活動	指導の内容と留意点
<p>○ナスカの地上絵の写真を見てその不思議さを味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どうやって描いたのだろう」 ・「誰が何のために描いたのかな」 ・「何かの暗号だったらおもしろいね」 <p>○活動のねらいを知る。</p> <p>【この竹早小学校にもナスカの地上絵のような「なぜここに？なんのためにこんな模様が！？」と思えるような謎の地上絵を描いてみよう】</p> <p>○材料の特徴を知り、活動の方向性を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビニールテープを床に貼り、どのような印象を持ったか考える。 <p>○グループをつくり、相談して場所を選ぶ。</p> <p>○活動場所に移動し、制作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「階段を登る時の明るい感じを謎っぽくいろいろな色を使って表したい」 ・「ここは自由に歩く謎の空間であることを示しているんだ」 ・「実はこの模様は教室のいろいろな考えがよぎるパワーを示してるんだ」 <p>○順番に移動しながら鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どんな感じがするか自由に発表してみよう。」 	<p>○暗号とは直接意味を示さないもので、非常口のマーク等の記号とは違うことを意識させる。</p> <p>○地上絵以外にも謎の模様をいくつか紹介し、想像を膨らませる。</p> <p>○「その場所ならではの謎のメッセージ」をコンセプトに考えさせる。</p> <p>○地上絵を描くことにより子ども達に学校そのものが楽しい謎に満ちた空間に変わるという予感を持たせるように投げかける。</p> <p>○フロアにビニールテープで区切るだけで謎が深まる面白さを体感できるようにする。</p> <p>○テープの貼り方や貼る場所、はさみの基本的な使用方法について確認しておく。</p> <p>○グループは集まった児童の様子を見ながら4グループ前後になるようにする。</p> <p>○制作可能な場所を示しながら子ども達が関心を持って活動できる場所を選ぶことができるようにする。</p> <p>○活動時間の掲示をして時間内に終わるように意識させる。</p> <p>○キーワードの「なぜ、ここに？なんの目的で？」という活動のイメージを「謎の模様」に収斂させて活動に取り組ませる。よって今回は必ずしも目的や場所の意味を明らかに説明できるようにしておく必要はないことを共通理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞者の視点で自由に感想を聞き、その後に作者グループの意図を聞く。 ・「謎の模様」の解釈の中に子どもたちの多様な価値観や考え方を捉えるポイントがあるので、ていねいにその考えを聞くようにする。

